JZ

KL-A300C

取扱説明書

保証書別添

本機をご使用になる前に、必ず本書の「安全上のご注意」をお読みください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

CASIO

ネームランドを使えば、ビデオカセットやオーディオカセットのラベル、値札や名札などのラベルを作ることができます。

この取扱説明書は、あなたの習熟レベルに合わせた3部構成になっています。初めての方や操作に慣れていない方は「クイックガイド」や「基本編」からお読みいただくと、無理なく楽しく使いかたをおぼえることができます。

それでは、レベルを選んでネームランドを使ってみましょう！

たまごレベル

ネームランドにさわるのは、これが初めてなんです。機械の苦手な私にラベルが作れるかしら？

ひよこレベル

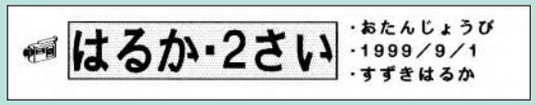
ネームランドを少し使ったことがあるので、作りかたはだいたいわかります。でも文字の入れかたがすぐわからなくなってしまうし、画面の見かたもチンプンカンプン……誰か教えてくれないかなあ？

免許皆伝レベル

文字の入れかたや印刷などの基本操作は一通りマスターしています。多彩な内蔵フォーマットも使いこなしたいけど、自分でレイアウトを決めて作る「こだわりのラベル」にも挑戦したいな。

たまごレベルのあなたは
クイックガイドへ （7ページ～）

まずはネームランドにさわってみましょう！
Step順に操作を行うと、箱を開けてからラベルを印刷するまでが体験できます。



このラベルが作れます

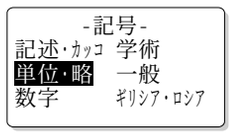
ラベル作りの流れが、なんとなくわかったら、

ひよこレベルのあなたは
基本編へ （23ページ～）

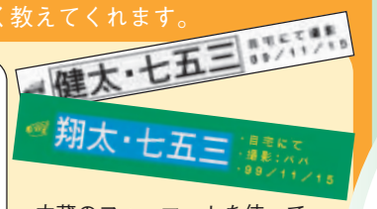
文字の入れかたや画面の見かたなど、基本操作を詳しく教えてくれます。

操作と画面を対比させているので、1つの操作ごとに結果の確認ができます

2 △▽◁▷と押して、単位・略にします。



操作を行うと、この画面が表示されます



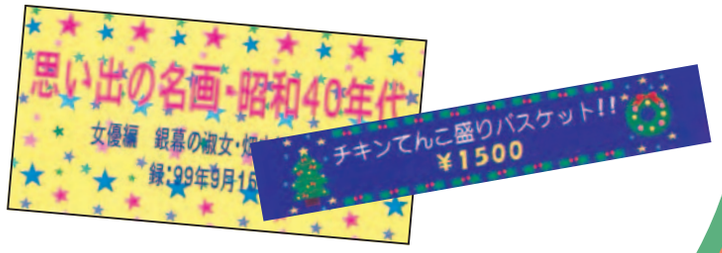
内蔵のフォーマットを使って、ビデオカセット・オーディオカセットなどに貼るラベルを作れます

文字の入れかたや画面の見かたなど基本操作をマスターしたら、

どんなカラーラベルができるか知りたいときは…

カラーカタログの表面
を見てください

ネームランドで作ることのできる楽しいカラーラベルのバリエーションを紹介しています。



※単色ラベルの種類は、本書28ページをご覧ください。
※カラーラベルは別売のカラーテープカートリッジをお使いください（本書28ページ）。

カラーラベルを作るときは…

カラーカタログの裏面
を見てください

配色・模様などカラーラベルのパーツ一覧が掲載されています。使いたいパーツを選んでください。

「こまったな…どうしよう」というときは…

こんなときはへ
（181ページ～）

思い通りに操作できないときや、メッセージの意味がわからないときに頼りになるページです。
また、「挿入/上書きを切り換える」など、ネームランドの基本設定を変えるときやお手入れをするときも、このページをご覧ください。

すぐに知りたい単語や操作は索引で！

「～したい」というときは…

目的別索引へ （222ページ～）

「単語や機能名から操作方法などを知りたい」というときは…

項目別索引へ （225ページ～）

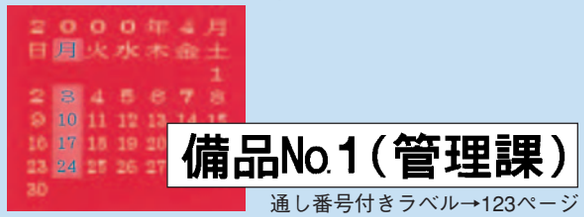
免許皆伝レベルのあなたは
応用編へ （111ページ～）

内蔵フォーマットを使って作るラベル、レイアウトを自分で決めて作るラベル、パソコンやデジタルカメラの画像を入れたラベルなど、バリエーション豊かなラベルを作ってください。

値札・メニューラベル→114ページ

ロゴコレクション→127ページ

カレンダーラベル→118ページ

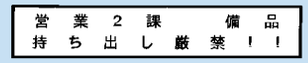


通し番号付きラベル→123ページ

拡大印刷→125ページ

ビデオ画像ラベル→139ページ

スタンプ用ラベル→130ページ



ファンシーラベル→137ページ
オリジナルラベル→142ページ
フォーマットや文字の大きさ・形などを自分で決めてラベルを作ることができます→149ページ
カラーグラフ関数電卓のデータラベル→176ページ
パソコンのデータラベル→178ページ
デジタルカメラの画像ラベル→179ページ
バーコードラベル→132ページ
型抜きラベル→136ページ

安全上のご注意

このたびは、「KL-A300C」をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

- ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 本書はお読みになった後も大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品での表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。（左の例は感電注意）

⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています。（左の例は分解禁止）

●記号は「しなければいけないこと」を意味しています。（左の例はプラグをコンセントから抜く）

⚠ 警 告

電源・電圧について

●表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災・感電の原因となります。

電源コードの取り扱いについて

●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

●電源コードは必ず付属品をお使いください。付属品以外のコードを使用するとコードが溶けたり、傷ついたりして、火災・感電の原因となります。

●万一電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●濡れた手で差し込みプラグに触れないでください。感電の原因となることがあります。

異常な状態にご注意ください

●万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに修理をご依頼ください。

⚠ 警 告

分解しないでください

●本機を分解・改造しないでください。感電・火傷・けがをするおそれがあります。

窒息注意

●製品本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、手の届かないところに保管または廃棄してください。窒息のおそれがあります。

本機を落とさないでください

●万一、本機を落としたり、本体を破損した場合は、まず本体の電源スイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いて販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注 意

電源コードや差し込みプラグについて

●電源コードをストーブ等の熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。(必ずプラグを持って抜いてください)

●旅行などで長期間本機をご使用にならないときは、安全のため必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

●製品本体を移動させる場合は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●お手入れの際は安全のため、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

水、異物はさけてください

●コーヒー・ジュースなどの飲み物や花瓶の水などをこぼさないでください。火災・感電の原因となります。万一、こぼしたときは、速やかに本体の電源スイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。

●この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物など異物を差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注 意

不安定な場所に置かないでください

●ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

高温注意

●本体内のプリンタヘッドおよびまわりの金属部分は高温になるため、触らないでください。火傷するおそれがあります。

設置場所について

●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●本機の上に重い物を置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがをするおそれがあります。

●ホットカーペット等の暖房器具の上に放置しないでください。あやまって、ふとん等がかぶさると、本体内部が異常に熱くなり、火災の原因となることがあります。

オートテープカッターについて

●電源を入れたときや印刷中は、オートテープカッターが動きます。その際、プリンタヘッドやテープ通路付近に触れないでください。けがをするおそれがあります。

メモリー保護

●本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗などにより、記憶内容が消えることがあります。

テレビ・ラジオのそばでのご使用について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

・本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
・本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
・本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
・万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
・故障、修理、電池消耗等に起因する文章の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

もくじ

安全上のご注意 ····· 1

クイックガイド ····· 7

基本編 ····· 23

基本編の見かた ····· 24
◆準備をする ····· 25
各部のなまえ ····· 26
テープカートリッジについて ····· 28
カラーテープを使って作れるラベル ····· 28
単色テープを使って作れるラベル ····· 28
テープカートリッジをセットするときの注意 ·· 29
幅の狭いテープカートリッジを取り出すときの注意 ····· 29
キーのはたらき ····· 30
画面の見かた ····· 31
カーソルのはたらきと動かしかた ····· 32
カーソルを動かす ····· 32
◆文字を入れる ····· 35
「ローマ字で入力する」か「かなで入力する」かを決める ····· 36
ローマ字入力とは？かな入力とは？ ····· 36
ローマ字入力/かな入力を切り換える ····· 37
ひらがなを入れる ····· 38
カタカナを入れる ····· 39
ひらがなをカタカナに変える(カタカナ変換) ·· 40
「っ」「ょ」「ぱ」などの文字を入れる ····· 41
漢字を入れる ····· 42
熟語を変換する ····· 42
漢字1文字ずつ変換する(単漢字変換) ····· 46
アルファベット・数字を入れる ····· 50
小文字/大文字、全角文字/半角文字を切り換える ····· 50
アルファベットの大文字を入れる ····· 50
アルファベットの小文字を入れる ····· 52
大文字と小文字が混ざった文を入れる ····· 53
数字を入れる ····· 54
記号を入れる ····· 56
キーについている記号を入れる ····· 56
いろいろな種類の記号を入れる ····· 59
絵文字を入れる ····· 62
外字を作る・直す・使う・消す ····· 64
新しく作る(新規作成) ····· 65
ほかの文字を使って作る(参照作成) ····· 69
登録した外字を直す ····· 71
登録した外字を使う ····· 72
登録した外字を消す ····· 74
間違えた文字を直す・消す ····· 76
間違えた文字を消す ····· 77
間違えた文字を直す ····· 82
◆ラベルを作る ····· 87
(ビデオ・オーディオ・名前・送り状・ファイル・フロッピー)
フォーマットを選んで作れるラベルの例(用途別ラベル) ·· 88
カラーラベルを作る ····· 89
単色ラベルを作る ····· 95
画像付きラベルを作る ····· 100
画像付きラベルの種類 ····· 100
ビデオ・デジタルカメラと接続する ····· 100
画像付きラベルを作る ····· 102
ラベルを貼る ····· 108
裏紙をかんたんにはがす(ピーラーの使いかた) ·· 108
ラベルを貼るときの注意 ····· 109

応用編 ····· 111

◆いろいろなラベルを作る 113
値札・メニューラベルを作る(POPラベル) · 114
カラーPOPラベルを作る ····· 114
単色POPラベルを作る ····· 115
画像付きPOPラベルを作る ····· 117
カレンダーラベルを作る ····· 118
カラーカレンダーラベルを作る ····· 118
単色カレンダーラベルを作る ····· 120
画像付きカレンダーラベルを作る ····· 121
通し番号のついたラベルを作る(ナンバリング印刷) ····· 123
大きなラベルを作る(拡大印刷) ····· 125
いろいろなデザインラベルを作る(ロゴコレクション) ····· 127
カラーのロゴコレクションラベルを印刷する ·· 127
単色のロゴコレクションラベルを印刷する ···· 128
スタンプ用ラベルを作る ····· 130
試し印刷をする ····· 130
スタンプ用テープに印刷する ····· 131
バーコードラベルを作る ····· 132
バーコードラベル作成の流れ ····· 133
バーコードの仕様 ····· 134
型抜きラベルを作る ····· 136
ファンシーラベルを作る ····· 137
画像だけのラベルを作る(ビデオ画像ラベル) 139
ラベルを登録する・呼び出す・削除する ···· 140
作ったラベルを登録する ····· 140
登録したラベルを呼び出す ····· 141
登録したラベルを削除する ····· 141

もくじ

自分だけのフォーマットを作る(オリジナルラベル) ·· 142
カラーオリジナルラベルを作る ····· 142
単色オリジナルラベルを作る ····· 145
オリジナルラベルのフォーマットを呼び出す ·· 146
◆フォーマットや文字の大きさ・形などを決めてラベルを作る ····· 149
ラベル内をブロックに分ける ····· 150
2行以上の文章を作る ····· 151
ラベルの書式を決める ····· 152
ラベルの印刷方向と長さを決める(書式) 152
ブロックごとの細かい書式を決める(詳細書式「ブロック書式」) ····· 153
ラベル全体の細かい書式を決める(詳細書式「全文書式」) ····· 155
文字の大きさを変える ····· 158
文字単位で大きさを変える ····· 158
行単位で大きさを変える ····· 160
文字の形を変える ····· 161
書体の種類 ····· 161
書体を指定する ····· 161
文字に飾りをつける(文字修飾) ····· 162
文字修飾を指定する ····· 162
文字修飾の指定を取り消す ····· 163
文字を目立たせる(文字体) ····· 164
文字体を指定する ····· 164
文字体の指定を取り消す ····· 165
文字に飾り枠をつける(フレーム) ····· 165
色の組み合わせを作る(ユーザー配色) ····· 166
ユーザー配色を登録する ····· 166
登録したユーザー配色を呼び出す ····· 167
登録したユーザー配色を修正する ····· 167
登録したユーザー配色を削除する ····· 167
ラベルのレイアウトを画面で確認する ····· 168
印刷前にラベルのできあがりを確認する ···· 168
ラベルを印刷する ····· 169
印刷前と印刷後にテープを空送りする ·· 170
テープのカットについて ····· 170
作ったラベルを登録する・呼び出す・削除する171
作ったラベルを登録する(メモリー) ···· 171
登録したラベルを呼び出す ····· 172
登録したラベルを削除する ····· 172
◆データ通信をする ····· 175
カラーグラフ関数電卓のデータをラベルにする176
パソコンのデータをラベルにする ····· 178
デジタルカメラの画像をそのままラベルにする179

こんなときは ····· 181

どうして？こんな症状のときは？ ····· 182
こんなメッセージが出たときは？ ····· 183
設定を変えたいときは？ ····· 186
ブザー音を消す ····· 186
挿入/上書きを切り換える ····· 186
ローマ字入力/かな入力を切り換える ··· 187
基本書体を切り換える ····· 187
画面の明るさ・印刷の濃さを切り換える ·· 188
起動画面の表示を切り換える ····· 189
キレイに印刷できないときは？ ····· 191
クリーニングテープを使用する ····· 191
アルコールにひたした先の細いベビー用綿棒を使用する ····· 191
ご使用上の注意 ····· 192

付録 ····· 193

ローマ字入力一覧 ····· 194
記号・絵文字・フレーム一覧 ····· 195
ロゴコレクション一覧 ····· 198
画像切抜き枠一覧 ····· 198
フォーマット一覧 ····· 199
用途別ラベル(カラー) ····· 199
用途別ラベル(単色) ····· 200
POPラベル(カラー) ····· 203
POPラベル(単色) ····· 203
スタンプ用ラベル ····· 204
型抜きラベル ····· 205
ファンシーラベル ····· 205
ナンバリングラベル ····· 205
ビデオ画像ラベル ····· 206
テープ幅と印刷できる行数一覧 ····· 206
各機能とテープ幅 ····· 207
拡大印刷時のテープ幅と文字の大きさ ····· 207
行単位フォーマット一覧 ····· 208
オリジナルラベルフォーマット一覧 ····· 210
内蔵漢字一覧 ····· 213
ネームランドの初期設定 ····· 217
仕様 ····· 217
別売品一覧 ····· 219
目的別索引 ····· 222
項目別索引 ····· 225
保証・アフターサービスについて ····· 229
カシオテクノ・サービスステーション ····· 229
カシオお客様ご相談窓口 ····· 229

クイックガイド

操作の流れ

Step.1
箱の中身を確認しましょう

Step.2
電源コードを接続しましょう

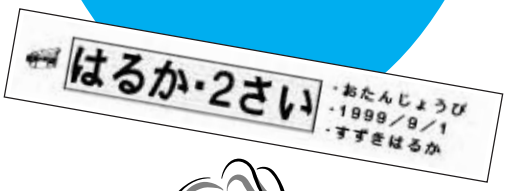
Step.3
テープカートリッジをセットしましょう

Step.4
表示部を開けましょう

Step.5
メモリーを初期化しましょう

Step.6
ビデオラベルを作りましょう

「クイックガイド」へようこそ!
ここでは、KL-A300Cの
ような機械をあまり使ったことが
ないかたを対象に、基本的な操作を
一通り説明しています。
Step順に操作していくと、
下のようなラベルが作れます!



Let's start!

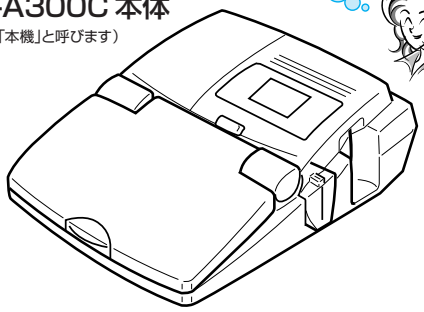
Step.1

箱の中身を確認しましょう

本体と付属品はすべてそろっていますか?
足りないものがあるときは、お買いあげの販売店、またはカシオテクノ・サービスステーション(→229ページ)にご連絡ください。

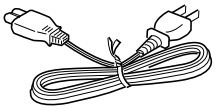
■KL-A300C 本体

(以下、「本機」と呼びます)

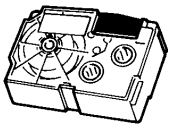


■付属品

- 電源コード1本

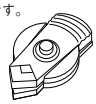


- テープカートリッジ1個 (XR-18WE)



- 取扱説明書(この本です)

- かんたんピーラー(→109ページ) ラベルの裏紙をはがしやすくするためのものです。

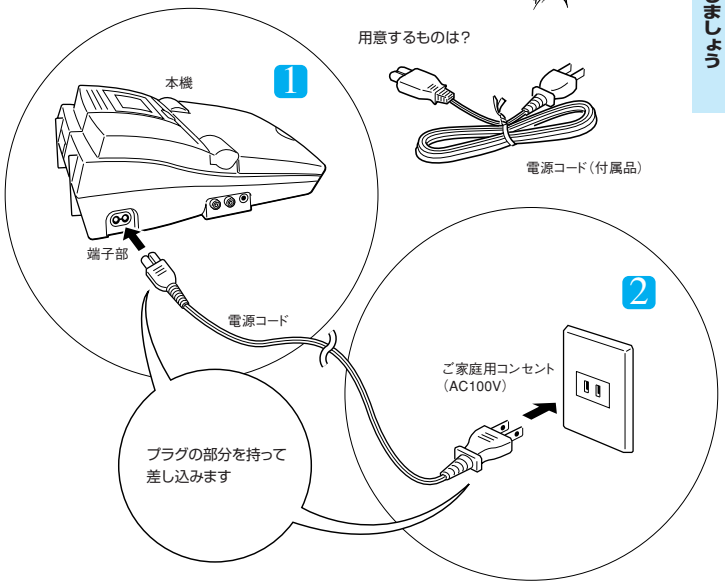


- 保証書
- カラーカタログ

Step.2

電源コードを接続しましょう

電源コードと本機、ご家庭のコンセントを接続します!



ご注意! **電源・電圧、また電源コードの取り扱いについて**

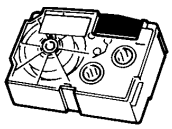
- ●「安全上のご注意」(→1~3ページ)を、必ずお読みのうえ、安全にお使いください。
- ●必ずAC100Vのコンセント(通常の家庭用コンセント)に差し込んでください。
- ●付属の電源コード以外は使用しないでください。

Step.3

テープカートリッジをセットしましょう

テープカートリッジを本機の収納部にセットします!

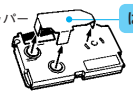
用意するものは?



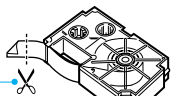
テープカートリッジ(付属品)

テープカート

1 ストッパー はずします

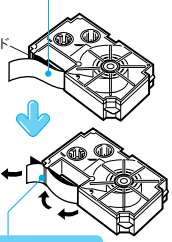


2



テープの端が折れ曲がっていたら、ハサミで切ります

3 テープがテープガイドからはずれていたら…



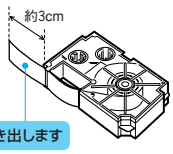
テープガイドに通します

ご注意!

- ●一度引き出したテープを巻き戻すことはできません。
- ●テープを無理に引き出したり押し込んだりしないでください。インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

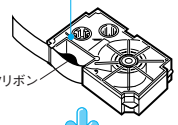
リッジの準備

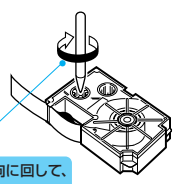
4



テープを引き出します

5 インクリボンがたるんでいたら…

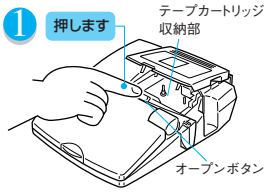




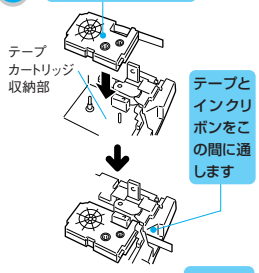
図の方向に回して、たるみをとります

テープカートリッジのセット

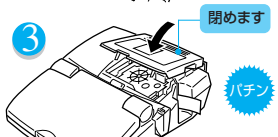
1 押します



2 真上からセットします



3 閉めます

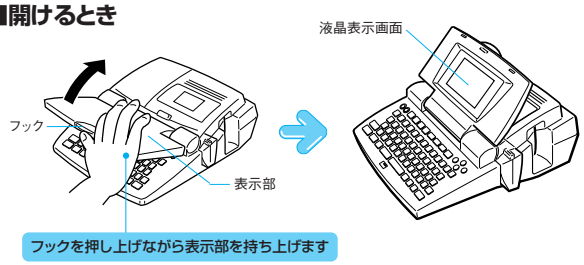


Step.4

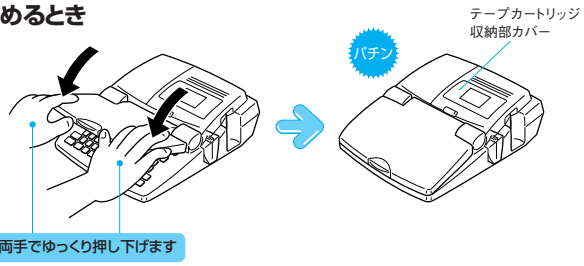
表示部を開けましょう

表示部を開けると、液晶画面とキーボードが現れます。

■開けるとき



■閉めるとき



ご注意!

次のようなことは、本体のキズや故障の原因になりますので、行わないでください。

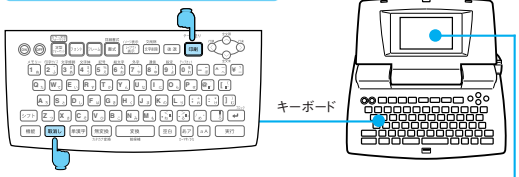
- ●液晶表示画面を押したり、強い衝撃を与える
- ●表示部の上に重い物をのせる
- ●開いた表示部を、無理にうしろに曲げる
- ●テープカートリッジ収納部カバーを開けたまま、表示部を開け閉めする(表示部の開け閉めは、必ず収納部カバーを閉めた状態で行ってください)

Step.5

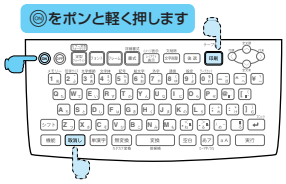
メモリーを初期化しましょう

メモリーとは、本機の中にあり、作成した文章などを入れておく場所です。お買いあげの後初めて本機をお使いになるときは、必ず初期化を行ってください。

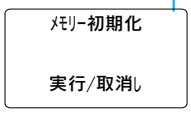
1 印刷と取消しをいっしょに押しながら…



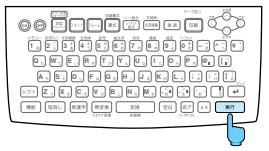
◎をポンと軽く押します

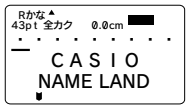


画面



2 実行を押します





ご注意!

- ●メモリーの初期化とは、本機の正常な動作のために行う電気的な設定です。初期化を行わないと、正しく動かないことがあります。
- ●初期化を行うと、画面に表示されている文章とメモリーに記憶されているデータはすべて消えてしまいます。またいろいろな設定も製造時に定められた値に戻ってしまいますので、必要のないときは、メモリーの初期化をしないでください。